



シトラスリボンプロジェクト JAかづの女性部が啓発

10月18日、JAかづの女性部員ら4人が町を訪れ、手作りの「シトラスリボン」を進呈しました。ひもやりボンなどで作られるシトラスリボンは「地域・家庭・職場や学校」を三つの輪で表現しています。新型コロナウイルス感染者や医療従事者への偏見をなくし、心から暮らしやすい町づくりを目指す活動として全国で広がっています。



〈あきぎん〉SDGs応援私募債 現代が小坂小中学校にカメラを寄贈

秋田銀行が取り扱う「〈あきぎん〉SDGs応援私募債」の手数料の一部を活用し、SDGsの目標達成に寄与する団体等を支援する取り組みの第1号として、株式会社現代が小坂小・中学校に「デジタル一眼レフカメラ」を寄贈しました。

寄贈式は10月12日にセパーム大会議室で行われ、小笠原健一社長から奈良育小坂小中学校校長に目録とカメラが手渡されました。

固定資産評価 審査委員の紹介

固定資産評価審査委員は、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に関する不服を審査するため、法律に基づき設置された行政委員会です。中立的な立場から固定資産課税台帳の登録価格（評価額）が適正なものであるかどうかについて審査を行います。



亀田 範夫 氏

固定資産課税台帳の登録価格（評価額）に不服がある納税義務者は、固定資産評価審査委員会に対して審査の申出をすることができます。

固定資産評価審査委員会は3人の委員で構成されています。任期は3年で、今回選任された委員の任期は令和3年10月1日から令和6年9月30日までです。



高校生ら3人が観光案内人デビュー 街歩きイベント「青空の博物館」

10月16日、明治百年通りにおいて町の歴史や文化を学びながら街歩きを楽しむイベント「青空の博物館」が開催され、町内外から約30人が参加しました。

イベントを主催する小坂町観光案内人協議会と町では、町の魅力や歴史を発信する観光案内人の育成を推進していて、今回は森浩美さん（小坂まちづくり株式会社代表）、櫻庭聖也さん（大館鳳鳴高校2年）、杉原杏凜さん（大館国際情報学院高校1年）の3人が初めて一般参加者へのガイドを務めました。（18ページに関連記事）